

インタビュー

エイブリック(株)
代表取締役社長執行役員

田中 誠司氏

ミネバアミツミグループ
のアナログ半導体技術を支
えるエイブリック(株)。同社
の事業・製品戦略について、
代表取締役社長執行役員の
田中誠司氏に伺った。



事業状況から。

田中 2025年度(26

年3月期)は好調で、事業
計画に対して増収増益で着
地した。特に1セル向け保
護ICや、医療機器向けが

拡大した。ま
た、26年1月
からは受注も
非常に好調
だ。AIデー
タセンター
(DC)の増
加により、メ
モリーだけで

なく大型部品など、全体的
に品薄になっていると聞
く。当社も長期かつ数量の
多い受注が継続しており、
いずれその反動がくるタイ
ミングがあるため注視し
ている。

田中 当社の営業利益率

は、数期連続で30%超を達
成し、主要アナログ半導体
企業のなかでもトップクラ
スを維持している。売り上
げの拡大とともに、この水
準をさらに伸ばす方針だ。

と業務効率化を目的に生成
AIの導入を進めている。
人手不足と高齢化が進むな
か、当社も今後5年間で1
00人以上が定年を迎える
ため、AIを活用して生産
性の向上を促進していく。

トフォン向けを主力とし
ている。昨今のDRAM不
足で顧客がローエンド機種
の生産を抑え、ハイエンド
機種へと比重を移す動きが
強まっており、このシフト
が当社には追い風となっ
ている。

事業展開について

田中 当社の事業は、①
リチウムイオン保護IC、

②車載向け電源IC、③医
療向け高電圧IC、④磁気
センサ、⑤クリーンプ
アの収益については28年度に
25年度比倍増とかなり高い
成長目標を設定しており、
これを具現化するための活
動を重点的に進めている。
また、こうした成長を支
える基盤として、技術伝承

①では、ハイエンドスマ
ーなどの設計変更のタイミ
ンクと重なり、需要は一段
と拡大する見通しだ。さら
に、スマートグラスなど新
たなアプリケーションでの
採用も広がりつつある。
一方、産業機器や医療機
器向けなど裾野の広い分野
は、サプライチェーンが長
い分、在庫の反動が出やす
く、引き続き慎重な見極め
が必要だ。磁気センサや
汎用電源ICは用途が広く
トレンドが掴みにくいた
め、在庫状況を踏まえて判
断していく。

田中 ②は、
特に④は、DCが水冷式へ
急速に移行しているため、
水漏れを事前に察知できる
高感度センサの重要性が
増し、微量の水の検知が可
能で漏水の「予兆」段階で
対処できる点が高く評価さ
れている。従来仕様は無線
だが、DC向けでは有線タ
イプのニーズがあり、新た
に開発したサンプル品が評
価中だ。

田中 タウンホールはこ
の3年間で、国内外の拠点
で参加者や質問が増え、対
話の場へと育ってきてい
る。また、ウェルビーイン
グ面では、匿名で相談でき
る外部窓口「コマホ(お困
りごとホットライン)」を
設け、家庭や介護の悩みに
専門家の紹介まで含めて対
応できる体制を整備し、従
業員が安心して働ける環境
づくりを進めている。この
ほか、6年ぶりの新CMで
は「エイブリックが何を作
り、どう社会に貢献してい
るか」を明確に示し、社員
が誇りを持てるブランドづ
くりにも注力している。社
員の働きがいと企業として
の信頼力を高めることで、
企業価値の向上につなげて
いく考えだ。

高収益体質をさらに深化

社員支援で企業力を向上

26年度は、4～6月期の
状況はかなり好調で、上期
業績は前年実績を上回る見
通しだ。下期に反動が出る
かどうかの見極めをしっか
りしていく。今の需要がエ
ンドユーザーの実需に紐づ
くものか、在庫の積み増し
であるかの確認作業は常に
実施している。

既存製品の拡
販に加え、付
加価値が高く
販売単価も高い新製品の展
開を強化し、収益構造の底
上げを図っていく。新製品
の収益については28年度に
25年度比倍増とかなり高い
成長目標を設定しており、
これを具現化するための活
動を重点的に進めている。
また、こうした成長を支
える基盤として、技術伝承

①では、ハイエンドスマ
ーなどの設計変更のタイミ
ンクと重なり、需要は一段
と拡大する見通しだ。さら
に、スマートグラスなど新
たなアプリケーションでの
採用も広がりつつある。
一方、産業機器や医療機
器向けなど裾野の広い分野
は、サプライチェーンが長
い分、在庫の反動が出やす
く、引き続き慎重な見極め
が必要だ。磁気センサや
汎用電源ICは用途が広く
トレンドが掴みにくいた
め、在庫状況を踏まえて判
断していく。

田中 ②は、
特に④は、DCが水冷式へ
急速に移行しているため、
水漏れを事前に察知できる
高感度センサの重要性が
増し、微量の水の検知が可
能で漏水の「予兆」段階で
対処できる点が高く評価さ
れている。従来仕様は無線
だが、DC向けでは有線タ
イプのニーズがあり、新た
に開発したサンプル品が評
価中だ。

田中 ②は、
特に④は、DCが水冷式へ
急速に移行しているため、
水漏れを事前に察知できる
高感度センサの重要性が
増し、微量の水の検知が可
能で漏水の「予兆」段階で
対処できる点が高く評価さ
れている。従来仕様は無線
だが、DC向けでは有線タ
イプのニーズがあり、新た
に開発したサンプル品が評
価中だ。

田中 ②は、
特に④は、DCが水冷式へ
急速に移行しているため、
水漏れを事前に察知できる
高感度センサの重要性が
増し、微量の水の検知が可
能で漏水の「予兆」段階で
対処できる点が高く評価さ
れている。従来仕様は無線
だが、DC向けでは有線タ
イプのニーズがあり、新た
に開発したサンプル品が評
価中だ。

田中 ②は、
特に④は、DCが水冷式へ
急速に移行しているため、
水漏れを事前に察知できる
高感度センサの重要性が
増し、微量の水の検知が可
能で漏水の「予兆」段階で
対処できる点が高く評価さ
れている。従来仕様は無線
だが、DC向けでは有線タ
イプのニーズがあり、新た
に開発したサンプル品が評
価中だ。

田中 ②は、
特に④は、DCが水冷式へ
急速に移行しているため、
水漏れを事前に察知できる
高感度センサの重要性が
増し、微量の水の検知が可
能で漏水の「予兆」段階で
対処できる点が高く評価さ
れている。従来仕様は無線
だが、DC向けでは有線タ
イプのニーズがあり、新た
に開発したサンプル品が評
価中だ。